

別添 大山ブナの森 自然観察会と木工教室 実施概要

『平成24年度ふれあい事業 大山ブナの森 自然観察会と木工教室』

実施日時：平成24年7月29日（日） 13:30～16:00

場 所：大山隠岐国立公園 大山寺集団施設地区（鳥取県西伯郡大山町大山）

参 加 者：5名（募集定員15名）

天 候：晴れ／曇り

内 容： 大山地域には西日本最大級と言われるブナの森が広がっています。大山の森林を構成する主要な樹種であるブナを題材に、古損木として処理されたブナを利用して木工教室を実施しました。実際にブナなどの枝に触れながら、樹木の特徴や感触を体感し、バードコールやキーホルダーを作製しました。中には、初めてノコギリを使用した小学生もいましたが、最後には慣れた様子で木材を切っていました。

その後、下山野営場に移動し自作のバードコールを使って自然観察会を行いました。五感を使ったゲームを行いながら、夏の大山の自然を楽しく学びました。バードコールを使って野鳥の鳴き声も聞くことができ、参加者の皆さんも楽しんでいらっしゃいました。

実施風景



＜バードコール作製の様子①＞

まずは、バードコールを作製しました。それぞれに好きな枝を選んで、持ちやすい長さに枝を切断します。



＜バードコール作製の様子②＞

ノコギリの使い方を講師の桑原さんに教えてもらいながら、木材を支える台を使って、安全に切断します。子供たちも、自分の力でバードコール用の枝を切りました。

別添 大山ブナの森 自然観察会と木工教室 実施概要



<バードコール作製の様子③>

ボルトを差し込む穴も、ドリルの機械を使って自分たちで開けました。初めて使う大きなドリルの機械も、桑原さんに手伝ってもらい、上手に穴を開けることができました。



<キー ホルダー作製の様子①>

次にキー ホルダーを作製しました。ノコギリを使う手も、少し慣れてきた様子でした。



<キー ホルダー作製の様子②>

紙やすりで磨いて、きれいにした後、木工用ボンドを使って好きな形にしていきます。かわいいクマのキー ホルダーができました。



<自然観察会 下山野営場>

下山野営場に入ると、様々な樹木を間近に観察することができます。

別添 大山ブナの森 自然観察会と木工教室 実施概要



＜自然観察会 耳を澄ますと…＞
自作のバードコールを鳴らしてみました。午後の時間帯ということもあります。小鳥との呼応は難しかったようです。しかし、間近でオオアカゲラの大きな鳴き声を聞くことができました。



＜自然観察会 觸ってみると…＞
下山野営場では青いクリの実を発見しました。参加者の女の子が自ら触って、柔らかいと教えてくれました。実は大人の方が、若いクリのイガの柔らかさに驚いている様子でした。



＜自然観察会 ブナの木の傷跡＞
最後に大きなブナの木を皆さんで観察しました。見ると、そのブナの木には、落書きによる傷跡が残っていることが確認できます。自然との関わり方を考える時間となりました。